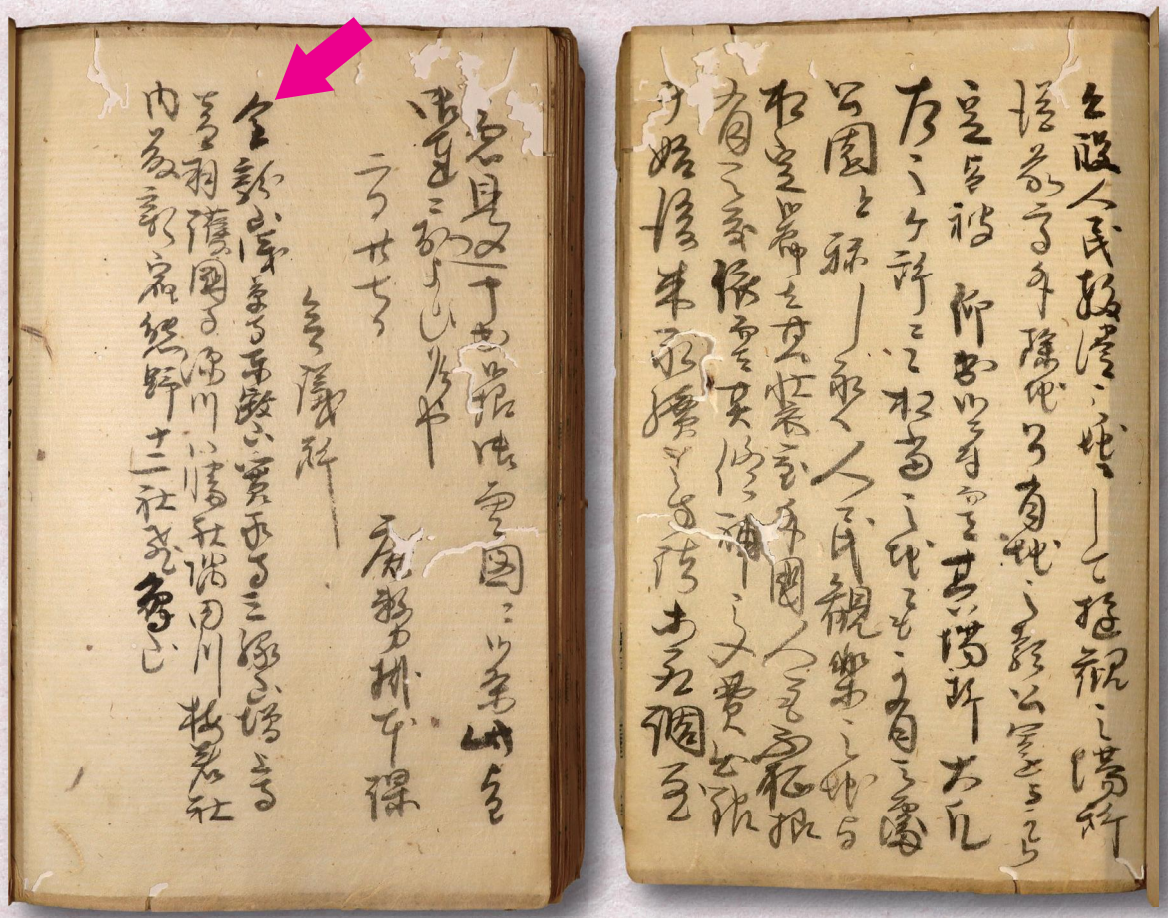
最初の「公園」



「庶務掛本課より会議所へ達」『諸御達簿〈第三大区〉明治６年１月同３月マテ』　請求番号：606.D7.04

明治６年(1873)１月15日の太政官達(だじょうかんたっし)により日本で初めて「公園」を開設することになりました。達の中で太政官は、江戸時代から庶民が親しんだ名所景勝地より、浅草寺、寛永寺の境内を東京の公園候補地の例にあげました。２月27日、東京府は、前の２つのほかに増上寺、護国寺、富岡八幡宮、梅若神社(木母寺)、新宿十二社熊野神社、飛鳥山を候補とし、営繕会議所に諮問しました。会議所は、浅草寺(浅草公園)、寛永寺(上野公園)、増上寺(芝公園)、富岡八幡宮(深川公園)の４か所を指定しましたが、府はここに飛鳥山(飛鳥山公園)を加えて五公園の設置を政府へ申請し、東京府に最初の公園が誕生します。